

| 特集 |

学び直しの 排便ケア

排便ケアは、訪問看護において
日常的に行われるケアのひとつです。
しかし、「日常的」であるがために、
ルーティン化しがちなところでもあります。

「便が3日出なかったら下剤を飲む」が習慣化していたり、
ひとたび摘便が計画されると、その必要性が確認されことなく、
漫然と摘便が実施されていたり。
思い当たる節がある方もいるのでは……？

排便ケアの焦点は、「便が出るか出ないか」ではなく、
「便を気持ちよく出せているかどうか」。
今回は、気持ちよく出すことを叶える排便ケアについて、
必要な知識と考え方を学び直します。

企画協力 ● 榊原千秋(合同会社プラスぽぽ代表)

うん、これで完璧！
腸役に立つ！

